

令和5年1月20日

上小学校保護者 様

あさぎり町立上小学校  
校長 東山 幸輔

令和4年度学校教育活動に関するアンケートの結果について（お知らせ）

寒冷の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこと拝察いたします。

さて、12月に実施しました学校アンケートにつきましては、ご協力いただき、誠にありがとうございました。遅くなりましたが、集計結果を下記のとおりお知らせします。

記

### 1 集計結果

\*十分当てはまる（4点）、大体当てはまる（3点）、あまり当てはまらない（2点）、当てはまらない（1点）の4段階で評価し、その平均値を出しています。

質 問 項 目	保護者	児 童
①子どもは、楽しく学校生活を過ごしていますか。	3. 4	3. 5
②子どもは、家庭学習に欠かさず取り組んでいますか。	3. 3	3. 5
③子どもは、学校や家庭の約束を守って生活していますか。	3. 2	3. 4
④子どもは、自他を大切にした言動ができていますか。	3. 2	3. 5
⑤子どもは、学校や家庭であいさつができていますか。	3. 0	3. 4
⑥子どもは、「早ね、早起き、朝ご飯」の習慣が身についていますか。	3. 2	3. 2
⑦学校は、子どもの学力を伸ばすために分かりやすく指導していますか。	3. 2	3. 7
⑧学校は、タブレットや電子黒板などのICT機器の活用に努めていますか。	3. 2	3. 5
⑨学校は、子どもたちの健康や体力づくりに取り組んでいますか。	3. 2	3. 5
⑩学校は、いじめのない明るい学校づくりに努めていますか。	3. 1	3. 3
⑪学校は、子どもの相談や悩みに誠意をもって対応していますか。	3. 0	3. 6
⑫委員会活動や学校行事に進んで取り組んでいますか。		3. 8
⑬学校は、保護者と連携し、きめ細かく対応していますか。	3. 1	
⑭学校は、子どもや学校の様子を保護者や地域に伝えていますか。	3. 0	
⑮学校は、清掃や整理整頓が行き届き、美しい環境を整備していますか。	3. 3	

※児童のアンケート項目は少し分かりやすい文面になっています。

## 2 結果より

### (1) 成果

- 全ての項目について、8割以上の高評価（A：十分当てはまる B：大体当てはまる）をいただきました。今後も子どもたちのよりよい成長を目指した取組の充実を図っていきます。
- ①、④、⑪の結果から、学校生活への安心感が窺えます。今後もいじめの未然防止とよりよい人間関係の育成を通して、より安心で安全な魅力ある学校づくりに努めていきます。
- ④では、人権週間の取組や縦割り班活動（異年齢集団による交流活動）を通して、上級生と下級生の心温まる交流活動が進みつつあります。また、学級内の人間関係についても、自分の言動を見つめ直す時間を設定したり、道徳の学習を通じた思いやりの心の育成などに取り組んできました。3学期も取組の充実を図っていきます。
- ⑦、⑧では、全ての授業者が研究授業に取り組むなど、授業力向上に向けた授業改善を進めています。また、ICT機器の効果的な活用にも取り組んでいることが結果に表れてきていると考えます。更なる学力向上を目指し、積極的な活用を図っていきます。
- 「自主・自立へ自ら考えて行動する力」を育成するために、自主的な活動を推進してきました。⑫の結果から、意識した取組が充実しつつあることが窺えますので、今後も自主性の向上を目指していきます。

## 2 課題

- ②では、家庭での学習習慣に個人差が見られるようです。引き続き、家庭学習の習慣育成に向けてご協力をよろしくお願い致します。
- ⑥より、基本的な生活習慣の定着については概ね良好ですが、1割程度不十分なお家庭もあるようです。今後も「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムが身につきますよう、ご家庭での指導をお願いします。
- ⑤より、あいさつの習慣については良好な結果ですが、挨拶を返せない児童も見られることから、重点的に指導を行っています。学校では、自分から先にあいさつができることを目指していますので、引き続き、ご家庭での指導もよろしくお願い致します。
- ⑨では、概ね良好な結果となっていますが、50m走の結果が県平均値よりも低い学年が多いなど体力面の課題もあります。昼休みの外遊びの励行や体育の時間の体力向上の取組を進めていきますので、各ご家庭でも運動に親しむ習慣づくりに取り組んでいただければと思います。
- ⑩では、児童の回答で、⑪では、保護者の回答で「C」と「D」の割合が他と比べて高くなっていました。今後も、教育相談を実施したり、いじめアンケート結果の分析を行ったりして、悩みを抱えた児童が相談しやすい状況づくりを進めていきます。
- ⑬、⑭の結果から、保護者との連携や学校の情報発信に一部課題が見られるようです。コロナ禍で様々な活動が制限されていることも原因の一つと考えますが、できる範囲での家庭との連絡・相談体制の充実を図るとともに、学校ホームページや学校メール等での積極的な情報発信に努めていきます。